

# 青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和7年度 第243号 2月1日

青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

昨年行われた子育てフォーラム展示発表の様子と、1月2日に開催された成人式で、新成人代表の堀内智信さんが心に残る答辞を読んでもくれました。その様子もお伝えします。



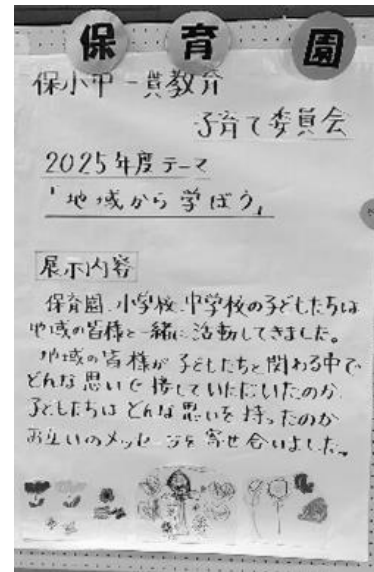
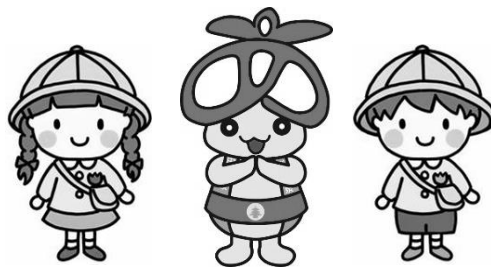
## 子育て委員会展示発表

### 2025年テーマ 《地域から学ぼう》

〈保小中一貫教育 子育て委員会〉

青木村の保育園、小学校、中学校の子どもたちは、授業や活動をする中で、地域の方が携わってくださる機会が多くその中からたくさんの事を学ばせていただいています。

今年度はその活動の様子を展示させていただきました。



保育園では、【地域の方と交流】・【地域の方と畑作り】・【給食の先生のお仕事を知ろう】・【参加型保育の感想】を展示しました。



小学校では、【地域とつながる クラブ活動】 ・1年生【歩いて出会った花や実、人…】・2年生【春の遠足リフレッシュパーク青木】・3年生【青木を知る3年生】・4年生【義民太鼓に挑戦!】・5年生【米作り体験】・6年生【修学旅行でつながる】の展示をしました。



中学校では、【義民太鼓】の展示をしました。



園児、小学生、中学生がそれぞれにたくさんの方と交流し、ふれあい、多くのことを教えていただき、成長していった子どもたちの姿が見られました。ご協力いただいた地域の皆様ありがとうございました。



フォーラムの展示は終わりましたが、今後はそれぞれの保育園・小学校・中学校で展示し、まだ見ていない保護者の皆様や地域の皆様に見ていただければと思っております。

子育て委員会では、これからも子どもたちが地域の方との交流の中での学びや、つながっていく様子を見守っていきたいと思います。

村民の皆さま、今後とも青木村の子どもたちをどうぞよろしくお願い致します。

あるけ、  
あるけ



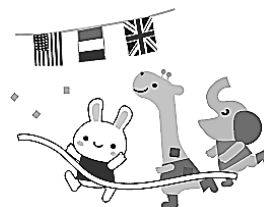
## 保小連携委員会展示発表

### ～青木村を知りながら歩く力をつけよう！～

〈保小中一貫教育 保小連携委員会〉

今年度も運動会参加や音楽会リハーサル見学、1年生とまめっこ、保育園の年長さんで、ハロウィン練り歩き・小学校での焼き芋会に参加をしながら交流を深め、小学校へスムーズな移行ができるようにと活動をしてきました。

また、そこに加えて“青木村を知りながら歩く力をつけよう！”のテーマを基に青木村散策とさつまいも掘りを体験しました。



### 小学校運動会

来年1年生になる子どもたちは、かざぐるま拾いに参加しました。ワクワク、ドキドキしながら「よーいドン」の合図で自分が好きな色のかざぐるまに向かって走る子、1位をねらって速く走る子、それぞれの思いを胸に走っていました。最後に校長先生のお話を聞き、かざぐるまを空に掲げ行進し小学校への期待が高まった様子でした。



### 青木村散策

1年生と保育園児でペアになって、小学校の手塚先生にいろいろな植物や木々等の名前や特徴を教えてもらいながら運動公園まで散策しました。知らなかった植物や名前を教えてもらい、見たり触ったりし興味津々の児童や園児たちでした。手をつないで歩いて行ったのでおしゃべりに花が咲いていたペアもいました。



### 音楽会リハーサル見学

年長さんは、1年生と2年生のリハーサルを見学させていただきました。この日をとても楽しみにしていたまめっこ保育園児は、1年生の忍者になっての歌や演奏、2年生の宇宙人になっての歌や演奏をとても楽しそうに夢中になって見ていました。「来年はみんなも歌ったり演奏したりするのだよ」と伝えると「たのしみ！」とにっこりする子もいました。





### さつまいも掘り

村松の沓掛さんのご厚意で、年長さんと1年生と一緒にさつまいも掘りを体験させていただきました。1年生と協力しながらおいものつるを取り、さつまいも掘りをしました。収穫の喜びやきれいに全て掘れた達成感を1年生と一緒に味わうことができました。



### ハロウィン練り歩き

ハロウィンに向けてひとり一人衣装やお菓子入れなど作りました。保育園の子どもたちは、空き箱等の廃材を利用してお菓子を入れるバックやお面等作りました。当日は、嬉し



そうに身につけ1年生とペアになり手をつないで教育委員会、役場を目指して歩きました。「ハッピー♪ハロウィン!」「トリックオアトリートおかしをくれないといたずらしちゃうぞー!」とみんなで楽しそうに声を合わせ、お菓子をいただいてニッコリの子どもたちでした。



### 焼きいも会

1年生からご招待いただき、年長さんが焼きいも会に参加しました。おいもは、沓掛さんの畑で収穫したさつまいもを使いました。

おいもが焼けるまでゲームをして待ちました。1年生がこの日の為にゲームを考えてくれ、楽しく氷鬼やだるまさんがころんだをしました。また、1年生たちが考えた自己紹介ゲームも楽しく、保育園児たちは緊張しながらも伝えていました。

やきいもが焼けるとホクホクのあまーいおいもを美味しくそうに、ニコニコしながらほおばっていました。



「小学校ってどんなところだろう」「小学校ってどんなことをするのだろう」と不安を持つお子さんもいますが、今回の交流で少しでも安心して希望を持って入学することができればと思います。

今後の活動では、1月に小学校体験入学に参加する予定です。1年生と様々な交流ができるのも青木村ならではの良さだと思います。これからも、小学校へ安心して入学できるように温かい交流ができればと思います。



## 「令和8年度 成人式 答辞」

新成人代表 堀内 智信

本日は私たちのためにこのような素晴らしい式典を開催していただき誠にありがとうございます。また、北村村長をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席いただき、お祝いと激励の

お言葉を賜りましたこと、新成人を代表して心より御礼申し上げます。

私たちは本日、二十歳という人生の節目を迎えました。ここまで歩んでくることができたのは、自然豊かな環境に囲まれ、友だちや先生方、そして地域の方々との温かい繋がりの中で育ってきたからこそだと、改めて感じています。



長野県青木村での暮らしは、豊かな自然とともに、人と人の距離が近く、誰かが誰かを気にかける環境でした。日々の生活の中で交わされる声かけや支えが、知らず知らずのうちに私たちの心を育ててくれたのだと思います。その経験は、今の私たちの価値観や考え方の土台となっています。

また、新しいことに挑戦する中で、思うようにいかない場面や、壁にぶつかることもありました。しかし、その一つ一つの経験が、自分自身と向き合い、どう行動すべきかを考える力を育ててくれたように思います。

私は将来、教員として、子どもたちの成長に関わる仕事に就きたいと考えています。新しいことに挑戦する中で学んだ「一人一人が役割を持ち、互いを尊重しながら関わること」「失敗も含めて成長の過程として受け止めること」は、教員になった時にこそ大切にしたい考え方です。子どもたちが安心して挑戦できる環境をつくり、その一歩を支えられる存在になりたいと考えています。

本日を境に、私たちは「守られる立場」から「社会を支える立場」へと歩みを進めていきます。これから先、困難や迷いに直面することもあると思います。しかし、これまでの挑戦の中で得た学びと、青木村で育った誇りを胸に、自分の選択に責任を持ちながら前へ進んできたいと思います。

私たちはまだ未熟で、道の途中にいます。それでも人との繋がりを大切に、新しいことに挑戦し続けることで、いつかこの青木村や社会に恩返しができる存在になれると信じています。



最後になりますが、私たち新成人が今日この日を迎えられたのは、これまで支えてくださったすべての方々のおかげです。その感謝の気持ちを決して忘れることなく、それぞれの場所で努力を重ねていくことをお誓いし、私の答辞とさせていただきます。



## 編集後記

成人式おめでとうございます。新成人代表の答辞を読ませていただくと、幼少期から地域の方々との温かい繋がりが大切なことがわかりました。今後も子どもたちの成長を応援していきたいですね。

